

まなびの森

校長通信 第16号 R3.2.4
廿日市市立吉和小・中学校
校長 森岡 勝司
TEL(0829)77-2010

教育目標「夢や目標をもち、果敢に挑戦し、自己実現する児童生徒の育成」

如月(2月)を迎えました！ ゲストティチャーによる授業を行います！

早いもので如月を迎えました。如月とは旧暦の2月のことです。意味はと言いますと、旧暦2月でもまだ寒さが残っているので、衣(きぬ)を更に着る月であるから「衣更着(きさらぎ)」という説や、陽気が更に来る月であるから「気更来(きさらぎ)」という説があるそうです。いずれにしましても、春はもう遠からじですね。もうそこまで来ています。



一作日は、124年ぶりの2日の節分でした。それを記念して(?)かどうかは知りませんが、兼房先生が冠山の鬼に扮して1・2年生教室に現れました。子どもたちにも好評でした。お疲れ様でした。(笑)

さて、昨日は公立高校の選抜I、私立高校の推薦入試がありました。中学3年生にとって進路の選択という大舞台に挑戦し、持てる力を存分に発揮して頑張ってきたようです。吉和学園の皆さんにとっては2月から3月はまとめの月になります。今まで学習してきた内容を振り返る時です。「今一歩わからないなあ」ということを「わかった！」にしていくことです。私との面談でも語っていますが、「わかった！」という自信の積み重ねが大切です。頑張ってください！



来週の8日(月)には、ゲストティチャーとしてインターナショナル エアアカデミー広島校の崔(さい)校長先生をお迎えします。5・6年生と中学生を対象にマナーについて学びます。航空会社JALに勤務され、フライトアテンダントを養成する航空専門学校の校長をされている方から学ぶべき点は大きいものだと思います。世界一のマナーを習得しましょう。

また、26日(金)には吉和市民センター行事でもありますが、アフリカのガーナ共和国でJICA協力隊として活躍された羽立大介さんをお迎えします。ガーナの盲学校では、パソコンの使い方やブラインドサッカーを指導された



ようです。いずれの方々も、国際社会の大舞台で活躍された方です。社会の第一線で活躍された方々のお話は、吉和学園の皆さんにとっては、自分自身の将来やキャリア(仕事等)を考えるために、絶好の機会となることだと思っています。さあ！未来を創るのは今！この瞬間の頑張りです！頑張りましょう！